

「届けよう服のチカラ」プロジェクト in 樹咲祭

8月31日(土)樹咲祭の一般公開が行われ、多くの方に富谷高校の文化祭をご覧いただきました。樹咲祭では、ユネスコ委員が『届けよう服のチカラ』プロジェクトの一環として、子供服の寄付を募りました。

『届けよう服のチカラ』プロジェクトは、ファーストリテイリングがUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)と連携して行う、小・中・高校生を対象とした参加型の学習プログラムです。難民の子どもたちへの支援として、着なくなった子供服を回収し届けることで、SDGs12「つかう責任・つくる責任」に貢献することを目指しています。本校はユネスコスクールとして、このプロジェクトに毎年参加しています。ユニクロ・GUさんの協力

のもと、ユネスコ委員が中心となり、樹咲祭では多くの来場者から子供服の寄付をいただきました。特に、遠方から足を運んでくださった方々も多く、学校の取り組みに多くの関心を寄せていただいたことを感じました。樹咲祭に先立ち、8月27日(火)には本校ユネスコ委員がミヤギテレビの人気番組『Oh!バンデス』に出演し、このプロジェクト

を広く告知しました。その結果、樹咲祭当日には多くの校外の方々からも子供服の寄付をいただくことができました。寄付いただいた服は、今後世界中の子どもたちの元へ届けられます。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。引き続き、この取り組みにご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



「泉区民ふるさとまつり」ボランティア



8月24日(土)、毎年開催されている泉の夏祭りは、数万人の人々が泉中央駅や七北田公園、そしてユアテックスタジアム仙台の周辺に集まります。本校ユネスコ委員会のメンバーと3年生の有志たちは、泉青年会議所の方々と協力し、ボランティアとしてさまざまな活動に参加しました。具体的には、切り絵制作や灯ろうの組み立て、さらには花火会場の設営など、会場運営に重要な役割を果たしました。事前準備から当日のサポートまで、一人ひとりが持ち場で積極的に行動し、地域の

一員として祭りの成功に貢献する姿が見られました。特に、花火会場の設営では、会場内の安全確保に配慮しながらの作業となり、ボランティアの皆さんのチームワークが光りました。また、切り絵制作では、伝統的な技法を活かしながらも創造的な作品を生み出し、来場者の目を楽しませました。生徒たちは、このような地域との交流を通じて貴重な経験を積み、地域社会への貢献の大切さを学んだことでしょう。

ユネスコスクール活動報告 留学生との交流



富谷高校に来た留学生。2年1組(国際・人文類型クラス)で学校生活を過ごしています。

ウィリアムくん(William Dean Wukela)

出身国：アメリカ合衆国(サウスカロライナ州)

登校期間：8.29.2024~1.31.2025

授業や学校行事、部活動といった様々な活動を通じ、多くの富高生と交流を深め、有意義な留学生生活を過ごしています。